

<b>2年</b>	<b>⑨ 確率</b>
( ) 年 ( ) 組 ( ) 番 氏名 ( )	

問 箱の中に、1 から 5 までの数字を 1 つずつ書いた 5 枚のカードがはいっている。  
この箱の中から取り出し方を変えて、確率を求めるとき、次の(1)～(3)の各問いに答えなさい。ただし、どのカードが取り出されることも同様に確からしいものとする。

(1) 箱の中から同時に 2 枚のカードを取り出すとき、取り出したカードに書かれている数字の和が偶数になる確率を求めなさい。

起こりうるすべての場合の数：10 通り

和が偶数になるのは、(1, 3) (1, 5)  
(2, 4) (3, 5) の 4 通り

$\frac{2}{5}$
---------------

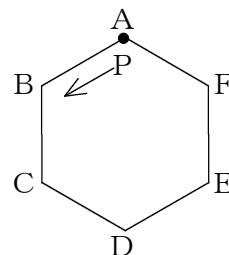
(2) 箱の中から 1 枚を取り出し、それを箱に戻さずに、もう 1 枚取り出すとき、取り出した順にカードを並べて 2 けたの整数をつくる。この 2 けたの整数が、奇数になる確率を求めなさい。

起こりうるすべての場合の数：20 通り

奇数になるのは、13, 15, 21, 23, 25, 31, 35,  
41, 43, 45, 51, 53 の 12 通り

$\frac{3}{5}$
---------------

(3) 右の図のように、正六角形 ABCDEF があり、点 P は頂点 A の位置にある。点 P は、次のルールにしたがって動くものとする。



箱の中から 1 枚を取り出し、それを箱に戻してからもう 1 枚取り出す。取り出したカードに書かれている数字の和の分だけ点 P は頂点を 1 つずつ反時計回りに移動する。

例えば、4 と 6 の数字が書かれたカードを取り出したとき、和は 10 となり、点 P は次の順に頂点を移動し、頂点 E で止まる。

A → B → C → D → E → F → A → B → C → D → E

このとき、もっとも起こりやすいのは、どの頂点で止まるときか、A～Fの中から 1 つ選び、そのときの確率を求めなさい。

起こりうるすべての場合の数：25 通り

頂点 A に止まる場合が (1, 5) (2, 4) (3, 3)  
(4, 2) (5, 1) の 5 通り

※頂点 A 以外に止まる場合は 4 通りしかない

記号	<b>A</b>
確率	$\frac{1}{5}$